

令和7年度 「ふれあい研修旅行」

社会教育委員会



行き先 氣比神宮、人道の港 敦賀ムゼウムと日本海さかな街

行 程

つつじが丘校区発(7:00)－東名高速 豊川 IC＝北陸自動車道 敦賀 IC－氣比神宮(11:00～11:30)－人道の港 敦賀ムゼウム(11:40～12:40)－日本海さかな街【自由昼食】(13:00～14:30)－北陸自動車道 敦賀 IC＝東名高速 豊川 IC－つつじが丘校区着(18:30)

参加人数 51名

内 容

6月29日(日)社教研修旅行が行われました。

東海地方は、まだ梅雨明けの発表はありませんが、晴天に見舞われ、暑い天候でした。

氣比神宮では、皆さん思い思いに参拝し、敦賀ムゼウム資料館では、命の大切さ、平和の尊さを実感し、大変有意義な一日でした。

氣比神宮



氣比神宮は、7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守。
高さ約11mの大鳥居（重要文化財）は春日大社（奈良県）・
厳島神社（広島県）と並ぶ日本三大木造大鳥居の一つです。



元禄2年旧暦8月(現在の9月終わり頃)には松尾芭蕉が訪れ、
境内には松尾芭蕉の像と句碑があります。
日本百名月にも認定されています。

人道の港 敦賀ムゼウム

『ムゼウム』はポーランド語で「資料館」



2020年11月3日にリニューアルオープンした新たなムゼウムは、大正から昭和初期にかけて敦賀港に実際にあった建物4棟を復元した外観となっており、館内には、人道の港の歴史を紹介するシアターやアニメーションを利用した展示などを設けています。



敦賀港は、明治から昭和初期にかけて、ヨーロッパとの交通の拠点としての役割を担い、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。資料館「人道の港敦賀ムゼウム」では、数々の苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の史実を中心に、当時の敦賀市民の証言やエピソードのほか、今も続く関係者との心温まる交流を紹介しています。

日本海さかな街



漁港直送の新鮮な魚介類とお土産がいっぱい



自由昼食とショッピング

皆さん、食べて、買って、市場グルメを気軽に堪能しました。

暑さもあり、食事・ショッピングを楽しんだ後は、ソフトクリームがたまりませんでした。

毎年恒例

道中の車内では、今回、人道の港 敦賀ムゼウム到着時間予想クイズを行い、みごと正解者の方には豊鉄さんから豪華賞品がありました。

じゃんけんゲームでは、バスガイドさんからのクイズに正解された方が賞品をかけてバスガイドさんとじゃんけんできる企画とし、大変盛り上がりました。

旅行中は汗ばむほどのお天気になりました。ちょっとしたハプニングはありましたが、事故もなくほぼスケジュール通りの日程で無事終えることができました。

旅行に参加してくれた皆さま、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

来年も多くの方にご参加いただき、地域の親睦を深めていきたいと思っております。